

# 主が建てるのでなければ

2021年8月8日

詩篇 127篇 (結婚式、幼児洗礼式)

エペソ 5・22～6・9

ローマ 13・1～7

序：世界規模のコロナウイルス感染拡大によって、一変した生活  
否、長年の無神論にもとづく世界観、人生観、価値観が表出するきっかけ  
初めて、目が覚めた  
今、世界はどうなっているのか、これから先どうなるのか

イエス・キリストの語られた終末、聖書に明らかに示されている終わりの時代

マタイ 24章

テモテⅡ 3章

ペテロⅡ 3章

生きる目的……利得、金儲け、社会の為より自分の為にする  
実現の手段……世界、社会、家庭などの分断 ⇒ 孤立、ばらばら、支配しやすく  
不安・恐怖である、思考停止  
監視、密告

人と会わない、話さない、交わらない *助け合わない*。  
多くの制限、規制、不法 愛が冷える、自然災害  
家庭の崩壊、結婚を汚す、性の混乱 ←LGBT、夫婦別姓、同性婚  
不品行、離婚、育児放棄

聖書を通して、人間世界の動きを見る  
人間社会、人間を通して、神の真理を見る

127篇はソロモンによる詩篇

富、繁栄、栄華をきわめた(王としては祝福された) 政治的平和  
妻妾は1000人(家庭人としては失格) / 外国妻がもたらした偶像礼拝

I. 主の祝福がない都市造り、国造りはむなしい *教会を建て上げるのも*。  
俺が、私が、知恵を絞り、力を尽くし、惜しみなく費用をかけても  
「神なしで、出来る」と思い上がる、栄光は全て自分がとる  
家を建てる者の働き  
町を守る者の見張り はむなしい

エルサレムの麗しさ、立派さ、堅固さは、時間と労苦と英知の結晶  
一朝一夕に仕上がったものではない 神殿の奉献式

自分が、神の関与なく、自力で事をなそうとする傲慢さへの戒め  
早く起き、長く働いても、遅く休み、得た収穫の実を食べても……むなしい  
伝道者の書 [空の空 すべては空]

神はご自身の愛する者に対しては、眠っている間に、ことごとく備えて下さる  
人間は何もせずにタナボタを待っているよ、ではない  
主に信頼して眠る者に、一切の必要を満たしてください  
(主が信仰者の神への信仰と労働に安心と憩いを与える)

神を主とし、共働

すべての祝福の源は主なる神 箴言 10・22

## II. 家庭・家族・子孫は神の祝福

(1)子どもたちは、神から与えられた賜物・報酬

偶然に産まれない 神のみこころによって与えられる

一夫一婦の結婚 (一夫多妻は骨肉の争い)

ウエスレー家は子ども17人

ブローマン家は子ども22人(11人+11人)

授かりものではなく、預かりもの

(2)若い時に生まれた子どもは、勇士の手にある矢

それぞれ、放たれると力を発揮する(頼もしい・可能性秘め)

強力な矢を矢筒に満たしている人の幸い

家庭・国家にとっての希望、戦力

親が年とった時頼りになる(町の門=討論・裁判で有利)

子どもの力強さ、頼もしさ

## III. 結び

私たち(主の愛し給う者たち)の生活の基盤は

(1)神への全面的信頼・依存

(2)神からの祝福

人を富ませるのは主の祝福、人の苦勞はそれに何も増し加えない

(1)神の祝福を信頼して待ち望む

(2)人間の側で、勤勉、忠実に果たすべきことを行う

(3)主への感謝と賛美

神を認めない、信じない現代の巨悪の勢力の狙い

(1)個人の崩壊

(2)家庭の崩壊

(3)国家、社会の破壊

そのための手段 (1)教育 (2)司法 (3)経済 (4)人間社会の分断  
無力化、機能しないように誘導あるいは強制

神を信じる者は、現実(美しいことも醜いことも、不都合なことも...)を  
把握した上で、神と神のみこころを勇気をもって実行する

神の祝福こそ、すべての根源